

中国は日本人スパイ、連続逮捕で
尖閣諸島「強奪」を狙っていた

ヤクザはどうやって税金を逃れているのか

マイナンバーで
韓国化する日本

SAPPHIRE

サピオ

12

2015

小学館

どうしてこんなに弱くなったのか?

それが

日本が 連続戦 連続外交は 連続勝 だった



中国「南京大虐殺」宣伝戦に
負けぬための処方箋

がん「5年生存率」は

都道府県でこんなに差があるのか

がん検診受診率が高い**新潟**、がん治療先進県の**長野**ほか

日本人の2人に1人ががんになる時代。病院選びや治療方法の選択において「5年生存率」が一つの目安となっているが、このたび都道府県別の最新データが公開された。その数値が示す意味とは――。

本誌編集部

国立がん研究センターは今年9月、がん患者の「5年相対生存率」（5年生存率）を全国規模で調査・集計し、初めて公表した。

集計対象は、宮崎県をのぞく全国46都道府県にある177のがん診療連携拠点病院（がん拠点病院）で、07年にがんと診断された患者約17万人。これらの患者が日本人全体と比較して、5年後にどれだけ生存しているかを示すのが「5年相対生存率」だ。がんの治療成績を示す指標となる。全がんと、主要5部位（胃、大腸、肝臓、肺、女性乳房）のデータがそれぞれ公表された。

調査を行った国立がん研究センターの西本寛・がん統計研究部長がいう。

「今回の調査では、各拠点病院が把握するがんの5年相対生存率を都道府県ごとに集計しました。利用できるデータ数が限られており、地域のがん治療のレベルをそのまま表す集計ではありませんが、都道府県のがん対策を点検する契機にしてほしい」

この集計による全がんの5年生存率は64・3%。がん全体で見ると罹患しても6割以上の患者が5年後に生存していたことになる。

今回の調査結果には都道府県ごとの5年生存率のほか、患者の年齢、病期、手術の有無が含まれる。こうしたデータをもとに、がんの部位別に細かく考察してみよう。

福井の胃がん生存率が高いのは

「医師の診断レベルの高さ」が貢献か

胃がんの5年生存率の全国平均は71・2%。トップの東京が78・8%、ワーストの群馬が60・9%だった。

全国平均が7割を超えたのは、がん検診での内視鏡検査などにより早期発見がしやすくなったことと、治療法の発展で治療成績が向上したからと考えられる。

この調査結果を予測医学研究所所長で医師の高山哲朗氏は

が分析する。

「東京、福井、長野など5年生存率が高い地域では、患者の年齢が比較的若く、早い病期でがんが診断されています。胃がんは早期で発見すると手術がしやすいので、その後の5年生存率が高くなると推測されます」

がんの進行度を示す「病期」は0期～Ⅳ期の5つのステージで表される。今回の調査では、胃がんの5年生存率が高い地域ほどⅠ期の割合が多かった。5年生存率が全国2位（77・7%）だった福井県健

都道府県別がん「5年生存率」最新データ

主要5部位別

「がん診療連携拠点病院」全国177施設、2007年診断17万症例を国立がん研究センターが調査・集計

胃がん			大腸がん			肝がん			肺がん			乳がん(女性)		
都道府県	5年相対生存率(%)		都道府県	5年相対生存率(%)		都道府県	5年相対生存率(%)		都道府県	5年相対生存率(%)		都道府県	5年相対生存率(%)	
全体	71.2		全体	72.1		全体	35.9		全体	39.4		全体	92.2	
①東京	78.8		①香川	79.6		①富山	51.3		①長崎	50.7		①長野	96.1	
②福井	77.7		②山口	79.4		②兵庫	48.6		②新潟	49.0		②新潟	95.4	
③長野	77.6		③新潟	77.4		③高知	47.3		③富山	48.2		③広島	95.3	
④茨城	62.0		④茨城	64.0		④愛知	25.4		④北海道	26.9		④佐賀	87.2	
⑤北海道	61.6		⑤沖縄	63.6		⑤鳥取	23.1		⑤山口	24.4		⑤福島	87.0	
⑥群馬	60.9		⑥青森	63.0		⑥香川	22.6		⑥沖縄	20.0		⑥青森	81.1	

都道府県	5年相対生存率(%)	施設数	症例数	5年相対生存率(%)	施設数	症例数	5年相対生存率(%)	施設数	症例数	5年相対生存率(%)	施設数	症例数	5年相対生存率(%)	施設数	症例数
北海道	61.6	4	375	71.8	4	445	33.5	4	144	26.9	4	408	87.7	4	216
青森	63.2	2	173	63.0	2	227	33.4	2	56	42.6	2	229	81.1	2	107
岩手	73.9	4	521	70.5	4	504	31.0	4	134	30.7	4	371	91.8	4	199
宮城	73.6	5	692	68.8	5	486	34.3	5	204	41.8	5	735	92.2	5	492
秋田	73.9	3	400	72.7	3	251	37.8	3	69	30.1	3	223	94.0	3	172
山形	74.0	4	773	74.8	4	513	41.4	4	127	41.4	4	389	89.1	4	221
福島	74.9	4	788	67.0	4	540	29.3	4	237	35.0	4	519	87.0	4	231
茨城	62.0	4	524	64.0	4	417	31.4	4	161	35.9	4	368	91.0	4	186
栃木	70.7	4	979	75.3	4	785	34.7	4	334	34.1	4	739	92.1	4	562
群馬	60.9	8	889	69.4	8	924	29.1	8	358	29.4	8	822	93.2	8	716
埼玉	66.0	3	549	66.9	3	403	29.3	3	149	37.7	3	518	91.0	3	534
千葉	69.5	8	1,789	73.1	8	1,442	33.5	8	515	36.6	8	1,609	94.1	8	1,214
東京	78.8	3	1,206	76.5	3	954	37.3	3	180	46.8	3	748	94.9	3	1,548
神奈川	66.9	4	586	70.0	4	717	29.6	4	185	32.8	4	478	92.0	4	319
新潟	76.1	6	1,484	77.4	6	864	39.2	6	211	49.0	6	1,070	95.4	6	650
富山	73.7	3	512	74.6	3	338	51.3	3	99	48.2	3	224	87.3	3	216
石川	74.0	5	610	71.1	5	429	38.1	5	213	46.3	5	567	93.2	5	298
福井	77.7	3	546	68.9	3	370	30.0	3	165	38.6	3	353	91.4	3	244
山梨	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—
長野	77.6	5	625	75.2	5	495	41.3	5	207	41.8	5	414	96.1	5	383
岐阜	69.4	4	469	71.8	4	472	34.3	4	134	31.6	4	364	89.2	4	222
静岡	72.6	7	1,515	70.0	7	1,033	29.8	7	418	41.0	7	1,121	92.0	7	717
愛知	67.1	7	1,234	72.3	7	1,106	25.4	7	388	35.1	7	1,039	91.4	7	796
三重	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—
滋賀	64.5	2	197	72.9	2	156	—	2	48	33.9	2	166	92.5	2	87
京都	76.5	4	592	71.3	4	460	44.8	4	163	36.7	4	342	93.5	4	219
大阪	73.1	7	1,485	76.8	7	1,135	44.6	7	651	43.3	7	1,170	90.9	7	770
兵庫	64.6	4	453	75.0	4	260	48.6	4	118	44.2	4	531	87.4	4	243
奈良	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—
和歌山	64.7	3	299	73.5	3	263	31.3	3	101	45.0	3	256	89.6	3	97
鳥取	68.5	3	198	71.5	3	151	23.1	3	61	40.1	3	182	93.0	3	87
島根	67.2	4	481	69.3	4	360	34.6	4	155	34.7	4	265	92.5	4	161
岡山	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—
広島	70.5	6	597	75.4	6	514	37.0	6	324	33.8	6	424	95.3	6	316
山口	69.9	2	150	79.4	2	126	29.0	2	99	24.4	2	97	90.4	2	60
徳島	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—
香川	65.9	3	347	79.6	3	247	22.6	3	105	41.0	3	356	88.9	3	137
愛媛	69.3	3	571	75.8	3	376	30.3	3	153	46.0	3	462	94.4	3	407
高知	73.5	2	208	69.2	2	142	47.3	2	97	39.5	2	184	90.2	2	135
福岡	68.6	13	1,732	70.3	13	1,479	38.4	13	1,083	42.6	13	1,642	92.0	13	1,156
佐賀	73.9	4	447	72.8	4	371	40.0	4	181	32.9	4	368	87.2	4	126
長崎	73.8	2	214	72.0	2	220	34.9	2	98	50.7	2	224	88.8	2	139
熊本	75.7	5	659	65.4	5	436	43.7	5	384	41.8	5	492	90.5	5	258
大分	65.0	2	120	69.0	2	81	43.1	2	63	43.6	2	144	93.8	2	120
宮崎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿児島	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—
沖縄	76.0	2	71	63.6	2	141	—	2	33	20.0	2	83	90.9	2	91

* 症例の生存状況把握割合が90%以上の177施設を集計。都道府県内の対象施設が2施設以上で症例数が原則50以上だった都道府県の生存率を公表している。宮崎県は調査に参加した病院がなかった。

5年生存率が5大がんのなかで最も高い**乳がん**(92・2%)は、都道府県別で見ても1位の**長野**(96・1%)からワーストの**青森**(81・1%)まで8割以上となった。がん治療に詳しい長尾クリニックの長尾和宏医師は「希望の持てる統計」という。「患者が5年後に9割以上も生存しているのは喜ばしいことです。乳がんは早期発見がしやすい、遅く発見されても治療しやすくなった印象です」確かに乳がんは比較的若年時に早期で見つかりやすく、手術がしやすい特徴がある。

順位	都道府県	死亡率
	全国	79.0
1	長野	68.3
2	三重	70.8
3	滋賀	71.9
4	福井	72.1
5	宮崎	73.1
6	熊本	73.6
7	富山	74.1
8	広島	74.4
9	山梨	74.4
10	香川	75.0
11	大分	75.3
12	岐阜	75.6
13	石川	75.8
14	奈良	75.8
15	静岡	76.5
16	徳島	76.5
17	沖縄	76.5
18	宮城	76.5
19	岡山	76.6
20	千葉	76.6
21	愛知	76.9
22	山口	77.4
23	福島	77.9
24	神奈川	78.1
25	群馬	78.3
26	高知	78.4
27	東京	78.4
28	山形	78.4
29	新潟	78.5
30	愛媛	78.6
31	京都	78.9
32	鹿児島	79.0
33	兵庫	79.0
34	埼玉	79.1
35	岩手	79.5
36	栃木	80.5
37	茨城	81.1
38	島根	81.1
39	和歌山	82.2
40	大阪	83.8
41	福岡	83.9
42	長崎	85.3
43	佐賀	85.9
44	秋田	86.5
45	鳥取	87.5
46	北海道	88.2
47	青森	98.0

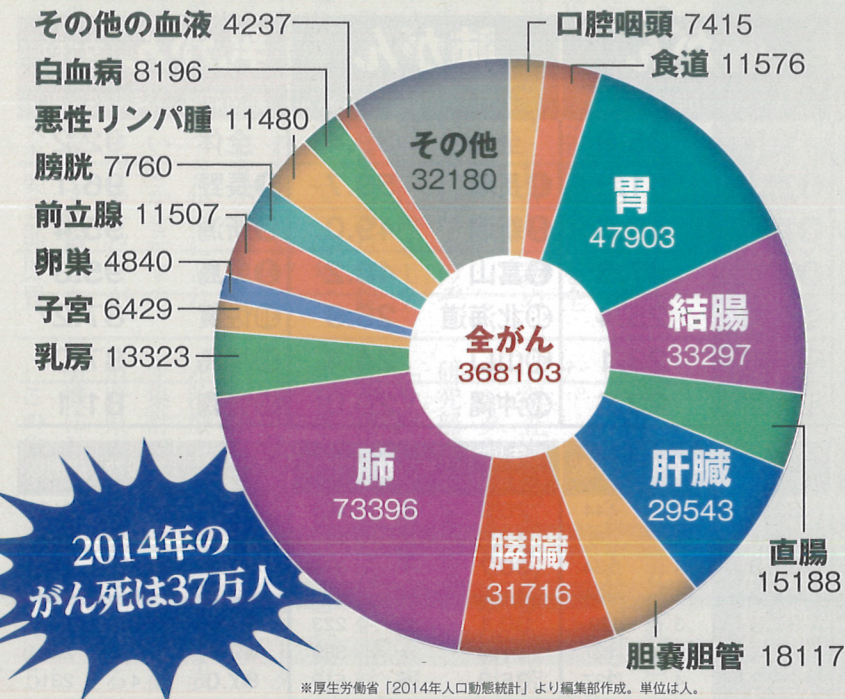
長野はがん死亡率が低い！ —がん死亡率都道府県最新ランキング(2014年)—

北海道、北東北、
山陰、九州北部の
死亡率が高い

- 1~10位
- 11~20位
- 21~30位
- 31~40位
- 41~47位

肺がん死7万人、胃がん死5万人

—がん種別最新死亡数(2014年)—



康福祉部の担当者がいう。「福井県では30年前からがん登録を行っており、医師のがんに対する意識も高い。診察に来た患者に対して「がん検査はしましたか」といった呼びかけを実施しています。こうした取り組みが早期発見の割合を高くしている理由の一つと考えられます」

「福井の医療現場では胃がんなど消化器がんの早期発見に力を入れており、がん検診の勉強会や患者への受診勧奨を熱心に行っています。早期発見のための勉強会も盛んで、開業医を含めた消化器内視鏡

診断のレベルが高いことも好成績の理由でしょう」
福井県の努力の成果は、左に掲載した「がん死亡率最新ランキング」にも表れている(全がんで全国4位)。

前出の高山氏が注目するのは「Ⅳ期の割合」だ。「大腸がんは香川や山口など、生存率が高い地域ほどⅣ期の割合が低くなる印象です。Ⅳ期で発見されると生存率が低くなりますが、Ⅰ〜Ⅲ期で発見されると他のがんより予後がよくなりやすい。大腸がんは胃がんと同じく、早期発見するとその後の5年生存率が高くなるが」と言えるでしょう(高山氏)

を高めることができる。
肺がんの5年生存率が全国2位だった新潟のがん拠点病院・新潟県立がんセンターの担当者がいう。
「新潟県は人間ドックやがん検診の受診率が全国平均よりかなり高く、Ⅰ期の占める割合が高くてⅣ期の割合が低い。これが今回の高い生存率につながったと考えられます」
肺がんが気になるのは、長寿イメージのある沖縄が全国平均の半数近い20・0%でワーストになったことだ(全がんで55・2%と全国最下位)。

胃がん、大腸がん比べて
全国平均の5年生存率が35・9%とぐっと低くなるのが**肝がん**だ。これは肝がんの特徴によると前出・高山氏は指摘する。
「肝がんは最初に肝炎ウイルスに感染し、肝硬変から発生するケースが多い。肝がんの治療をしてもとの肝硬変は治らず、肝機能の低下で早期に死亡する可能性があります(高山氏)」
肝がんは手術で臓器ごと除去することができず、発見された時点で手遅れになりがち

だ。実際に今回の調査では、**愛知・鳥取・香川**など5年生存率の低い地域で手術の割合が低かった。
胃がんや大腸がんのような早期発見・治療が難しい分、肝がんは日頃からの予防が重要ながんと言えるだろう。
円グラフで示した「がん種別最新死亡数」のトップであり、14年に7万人以上が命を落とした**肺がん**の5年生存率は39・4%とさすがに低い。肝がん同様、胸部レントゲンなどによる早期発見が難しいが、検診により生存率

を高めることができる。
「沖縄の肺がんは進行中のものが多く、とくにステージⅣの割合は全国の拠点病院の中で最も多い。これに伴い、手

術の割合がワーストであることが5年生存率に大きく影響していると考えられます。
また、70歳以上の高齢者の割合が全国平均より高いことも影響しているかもしれない」
実際、沖縄で肺がんになった70代以上の割合は67・5%と、全国平均の53・2%を上回って全国最多となった。がんが進行した段階で発覚した

ため手術ができず、なおかつ高齢のため生存率が低くなると推測される。
なお、沖縄ではがん拠点病院ではない国立病院機構沖縄病院での肺がん処置数が多いという。
他県についても言えることだが、拠点病院以外のがん治療は、いくら効果があっても今回の調査結果に反映されていない。

「長野県では行政による『がん診療連携拠点病院整備検討委員会』が拠点病院の調査・評価を定期的に実施し、会合では県内の拠点病院の関係者が互いに学びあっています。そうした取り組みにより、がん診療が向上していると考えられます」
部位別の集計が示すように、行政の努力次第でがん生存率はさらに向上できそうだ。
日本社会が高齢化を迎えるなか、地域の医療格差をどう縮めていくべきか。前出の長尾氏が提言する。

「現在の日本では、医療のレベルより医師数や看護師数といった「医療資源」の偏在が進んでいます。今後は拠点病院と町の診療所の連携や長野県のように行政と医師、住民が一体となった予防施策が課題になってきます。全がんの5年生存率が64%を超え、がんが死ににくい病気となった今こそ、住民が予防や治療をしやすい仕組みが必要です」

「沖繩の肺がんは進行中のものが多く、とくにステージⅣの割合は全国の拠点病院の中で最も多い。これに伴い、手